

【概要】 障害者スポーツ推進プロジェクト（地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業）

【現状・課題】

- ◆市町村に障がい者スポーツ担当課無し
- ◆地域の障がい者スポーツチームの高齢化・メンバー減少
- ◆障がい者スポーツ無関心層へのアプローチ
- ◆柔軟に地域で活動できる指導者の確保

【課題解決に向けた方向性】

- ◆総合型地域スポーツクラブの環境整備
- ◆特別支援学校でのパラスポーツ体験・指導
- ◆訴求力のある関連コンテンツの有効活用
- ◆地域スポーツ人材等の育成に向けた研修

全県下を対象！
障がい者スポーツ実施環境の整備

コロナ禍における事業継続
「新しい生活様式」に対応

誰もが障がい者スポーツに関心を抱き、携わることができ、どこでもスポーツができる環境づくりの推進！

徳島県障がい者スポーツ推進プロジェクト実行委員

学識経験者、障がい当事者団体、スポーツ団体、行政機関で構成

- ・福祉関係者とスポーツ関係者を繋ぐ連携体制の構築
- ・障がい者スポーツの普及・方策の検討
- ・事業の進行管理、事業成果の検証



事業実施団体

教育部局、行政スポーツ部局と民間団体で連携し事業を実施

- ・徳島県教育委員会特別支援教育課
- ・徳島県障がい者スポーツ協会（ダイバーシティ推進課）
- ・（一財）徳島県スポーツ振興財団（スポーツ振興課）



効果的な方策を検討、事業実施団体間の連携による事業展開

取組

県教育委員会特別支援教育課

特別支援学校とスポーツ関係機関との連携による
継続的なスポーツ参加促進モデル構築事業

- 県内特別支援学校5校をモデル校として選定
- ニーズに応じた指導員を派遣し、児童生徒の身体能力の向上、卒業後のスポーツ継続意欲の醸成、同時に教員と指導法を共有し、授業等での継続的な取組みを支援

回数：3～4回実施

内容：バスケットボール、ポッチャ、体幹トレーニング等

- 効果：①児童生徒の身体能力の向上（マラソントイムの向上等）
- ②指導方法共有によるスポーツ教育効果の向上



- ・学校卒業後のスポーツ実施拠点の更なる開拓が必要
- ・同時に、在学中から生徒が、クラブや地域のチームと関わる機会が必要

徳島県障がい者スポーツ協会

障がい者スポーツ理解促進事業

- 障がい者スポーツが体験できるイベントの開催
- 障がいのある人とない人を対象とした障がい者スポーツイベントを、「新しいカタチ」として、リアルとオンラインを融合した形式で開催。
- 外出制限のある施設と会場をオンラインで結び、スポーツ交流

内容：①講演会（電動車いすサッカー）

講師：夢田羅 勝義 氏（日本代表チームドクター）
日本代表選手2名（オンライン出演）

②体験・交流会
ポッチャ・フライングディスク



オンライン交流

- ・オンライン参加できる施設の開拓（事業成果周知等による）が必要
- ・オンライン参加者に、会場来場者と同様の満足度を得るための工夫が必要

（一財）徳島県スポーツ振興財団

共創共楽スポーツ推進事業

- 総合型地域スポーツクラブでの障がい者スポーツの理解の促進
- クラブでのスポーツプログラムの実施や、クラブ関係者等を対象とした障がい者スポーツセミナー等の開催によるクラブの活動支援

【講習会：障がい者スポーツフォーラム】

講師：安藤 佳代子 氏（日本福祉大学 助教）
西上 勝 氏（徳島ウイングス代表）
遠藤 恭弘 氏（徳島県障害者スポーツ協会指導員）

内容：障がい者スポーツ推進の意義
スポーツを通じた共生社会の実現に向けて



オンライン活用

【地域での体験会開催】

内容：総合型地域スポーツクラブや徳島県障がい者スポーツ協会等と連携し、地域住民を対象とした障がい者スポーツ体験会を開催



- ・障がい者スポーツの実施実績の無い総合型地域スポーツクラブの開拓
- ・障がい者スポーツ関係機関・団体等との推進体制の構築

身近な地域でスポーツを行う機会拡大と更なる障がいへの理解の促進！

誰もが障がい者スポーツを通じていきいきと活躍し交流する社会の実現